授業科目	英語教科教育法Ⅰ					実務家教員担当科目	-
単位	2	履修	選択	開講年次	2	開講時期	後期
担当教員	塚本　美紀						
授業概要	本授業では、中学校や高等学校の英語教育に関する基本的な知識を身につけ、英語教師になるために必要な姿勢や資質等について学ぶことを目的とする。英語教育を取り巻く状況や言語や学習者の捉え方について理解するとともに、学習指導要領についても学ぶ。また平成 23 年度からの小学校外国語活動必修化に伴い小・中・高連携も視野に入れた幅広い知識を身につけることも目指す。						
授業形態	講義・演習			授業方法	グループワーク・ディスカッション		

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	・英語教育について理論と実践の両面から包括的な理解ができる。 ・小学校外国語活動、中学校外国語、高等学校外国語の学習指導要領の変遷を理解し、新しい学習指導要領の概要を説明できる。 ・異文化理解や国際理解にまで視野を拡げた考え方ができる。
理想的レベル	・英語教育について理論と実践の両面から包括的に理解し、重要な点について説明できる。 ・小学校外国語活動、中学校外国語、高等学校外国語の学習指導要領の変遷を理解し、新しい学習指導要領の重要な点について説明できる。 ・異文化理解や国際理解にまで視野を拡げた考え方ができる。

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	50%	
小テスト		
レポート	30%	
発表（口頭、プレゼンテーション）	20%	
レポート外の提出物		
その他		

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

DP1	○	DP2	-	DP3	-	DP4	○	DP5	-	ナンバリング	EN24109J

学習課題（予習・復習）	1 回の学習目安（時間）
事前に教科書の該当ページを読み、授業後にレポートを作成する。	4

授業計画

第 1 回	テーマ：　英語教育と英語教育学 日本における英語教育の変遷を振り返り、英語教育の目的や英語教育学について考える。
第 2 回	テーマ：　英語の国際化と日本の英語教育 国際化時代の英語の役割について考え、日本の英語教育の在り方について考察する。
第 3 回	テーマ：　学習指導要領 小学校、中学校、高等学校の学習指導要領の変遷と新しい学習指導要領について解説する。
第 4 回	テーマ：　学習者

	学習に影響を及ぼすさまざまな学習者要因について考える。
第 5 回	テーマ：　英語教員 教師の役割と教師が関わるさまざまな要因について考える。
第 6 回	テーマ：　小学校における外国語活動・外国語科 外国語活動及び外国語科の目標や内容について考える。
第 7 回	テーマ：　英語教授法 さまざまな教授法について、背景となる理論と指導法について紹介する。
第 8 回	テーマ：　第二言語習得と英語教育 英語教育における第二言語習得研究の意義について考える。
第 9 回	テーマ：　コミュニケーション能力の育成 コミュニケーション能力について説明し、それを養成するために必要なことについて考える。
第 10 回	テーマ：　リスニング 効果的なリスニングの指導について考える。
第 11 回	テーマ：　スピーキング 効果的なスピーキングの指導について考える。
第 12 回	テーマ：　リーディングとライティング 効果的なリーディングとライティングの指導について考える。
第 13 回	テーマ：　ティーム・ティーチング ティーム・ティーチングの効果的な在り方について考える。
第 14 回	テーマ：　測定と評価 さまざまな評価の方法について解説する。
第 15 回	テーマ：　まとめ 第１回から第１４回までの授業を振り返る。
テキスト	『新学習指導要領にもとづく英語科教育法　第３版』望月昭彦　編著　（２０１８年）　（大修館書店） 『現場で使える教室英語』石渡一秀　他著　（２０１１年）　（三修社） 『中学校学習指導要領解説外国語編』（平成２９年）（文部科学省） 『高等学校学習指導要領解説外国語編』（平成３０年）（文部科学省）
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	『小学校学習指導要領解説外国語活動編』（平成２９年）（文部科学省）
課題に対するフィードバックの方法	次の授業の中でフィードバックを行う。必要な場合は、個別に行う。
学生へのメッセー	生徒の成長の場面に立ち会うことができる教員という仕事は、大変やりがいのある仕事ですが、生徒を指導するためには十分な知識とそれらを効果的に指導する技術が必要です。日頃から自分の英

ジ・コメント	語力の向上を心がけるとともに、この授業で英語教育に関する知識をしっかり身に付けてください。